

アメリカのイージス艦船が大阪港入港

「平和な商業貿易港の 大阪港に軍艦はいらない」 と抗議の声

南港の岸壁に停泊する「チェイフィー」(4月12日)



最新鋭の装備を持ったイージス艦船のチェイフィー。この日の夕刻のテレビでは、歓迎セレモニーの様子が報道されていません。まるで市民がみんな歓迎しているような報道は正確ではありません。チェイフィーは全長155メートル、9157トン。ハワイの真珠湾が母港で、乗組員は320人。



大阪港・天保山に入港した自衛艦に抗議する市民や労働組合(3月22日)

3月12日、午前9時。大阪南港に最新鋭装備をもったアメリカのイージス駆逐艦「チェイフィー」が「友好親善」という目的で入港しました。沖繩、横須賀など全国各地で米兵による凶悪犯罪が続発しているなかで、日本国民の命や人権が脅かされているのに、「友好親善」の名で入港してくるとは、まさに国民、府民の気持ちを逆なでするものです。米艦船の入港に合わせて、岸壁では大阪安保実行委員会をはじめ、大阪自治労連などの労働組合、新婦人大阪府本部などの民主団体や市民80人が、灰色の巨大艦船に向って、「米軍は日本からでてい

の総意として、「大阪港平和利用決議」を全会一致で採択し、大阪港の軍事使用、艦船の寄港に反対しています。大阪市議会の決議を無視、棚上げして、抗議ひとつしない大阪市長の態度は市民の平和の思い、願いにそむくものです。

け「商業貿易港に軍艦はいらない」と抗議の声をあげました。「チェイフィー」は4月12日から16日まで居座りました。大阪港に米艦船が入港するのは昨年の3月以来で、これで9回目になります。大阪では3月に南港のWTC前の岸壁に自衛隊の艦船

やミサイルレーダーが持ち込まれて「防衛・防災フェスティバル」が開催。また天保山埠頭では自衛隊の護衛艦「うみぎり」など3隻も入港。大阪港の軍事利用が着々と拡大されていることは重大です。大阪市議会は1994年に市民

の総意として、「大阪港平和利用決議」を全会一致で採択し、大阪港の軍事使用、艦船の寄港に反対しています。大阪市議会の決議を無視、棚上げして、抗議ひとつしない大阪市長の態度は市民の平和の思い、願いにそむくものです。

「九条の会・おおさか」講演のつどい

1500人の市民を前に、平和への思いを語る2人



井上ひさしさん&藤本義一さん 9条と平和を語る



井上ひさしさん

昭和20年の日本人の平均寿命は男23歳、女32歳。戦争は国民の平均寿命を極端に下げた。戦争は勝つか負けかだけでなく第三の選択肢もある。スイスやスペインがそうだった。戦争をした人はまず自分の息子を戦場に行かせればよい。日本を医療世界一の国にして、世界から「あの国は攻めてはいかん」とうならせるといふ手もある。命に関わる部署は民営化してはいけない。



藤本 義一さん

3月21日夕刻の中央公会堂は1500人の市民でいっぱい。「九条の会・おおさか」講演のつどいに井上ひさしさんと藤本義一さんという著名文化人2人が対談するという企画に、多くの市民が詰めかけました。2人は戦争、平和、人間、9条など大いに語りあい、しばしば飛び出す2人の語録に、聞いている市民からは拍手喝采が起りました。

あの太平洋戦争の終戦まじわ、8月10日にはすでにアメリカは戦勝パーティーをやっていたという。日本の敗戦で戦争が終結することを上層部は知っていたのに多くの国民が15日まで犠牲になった。戦争はすべてのものを奪ってしまふ。今日のみなさんの思いを誰かに伝えてあげることに大事。生きていることに窮乏を感じるが、ほんとうの生きかたは9条にある。

寝屋川市役所女性九条の会
「職場九条の会」が相次いで「平和のつどい」
東大阪市役所9条の会

いま、「職場九条の会」が相次いで、つどいを開いています。3月14日には「寝屋川市役所女性九条の会」が「結成2周年のつどい」を開催し、53人が参加しました。つどいでは、数田ゆきえさん(大阪労連女性部長)が「三講演し、三工房」のナオユキさんが憲法漫談で笑いの中に憲法を考える絶妙の語りで参加者の喝采をあびました。

また、3月26日には、「東大阪市役所9条の会」が市内のイコーラムホールで「平和のつどい」をひらき、職員や市民など130人が参加しました。開会のあいさつで東大阪市職員の荒田功委員長は「昨年12月に『東大阪市役所9条の会』が発足し記念の『ピースコンサート』をひらいたが、今夜はその第2弾。国



松元ヒロさんのパフォーマンス



職場のバンド「バガボンズ」の演奏

民投票法や新テロ特措法など、憲法をめぐる新たな状況のなかで、職場から9条を守る、憲法改悪を許さない世論を広げていきたい」と強調しました。

つどいでは、市役所職員でつくるバンド「バガボンズ」が「戦争を知らない子どもたち」青い空は「ねがい」などを熱唱、続いて登場したパントマイマーの松元ヒロさんは、憲法や平和をネタにしたパントマイムとトークのソロライブで、大いに会場を沸かせました。参加者からは「大いに歌って、笑って、憲法や平和に思いを寄せて、いい企画でした」の声が寄せられています。

今月のキーワード
映画「靖国 YASUKUNI」

日本在住の中国人監督が撮った靖国神社を舞台にしたドキュメンタリー映画。軍服姿で参拝する団体や、A級戦犯合祀に抗議する遺族などの姿を取材し続けた記録。一部週刊誌が「反日的」と書いたり、自民党国会議員らが同映画に日本芸術文化振興会が助成金を出していることをとりあげたりしたこと、映画館が右翼団体の嫌がらせや、妨害などを懸念して上映中止を決めました。言論・表現の自由を脅かすとしてマスコミが一斉にとりあげ、その後、全国の映画館で上映を表明する動きも出ています。

今月のキーワード
道路特定財源制度

道路特定財源制度は、受益者負担(利益を受ける者が費用を負担する)の考え方に基づいて、自動車の所有者やその燃料を使用した人などの道路利用者が道路の建設・維持費用を負担する制度です。財源にはガソリン税や自動車重量税などが充てられています。「道路整備5箇年計画」(現在は他の分野と一本化)と合わせ、道路の集中整備をすすめてきました。自動車の取得、保有、利用(走行)の各段階で課税されています。石油ガス税・自動車重量税のうち一定部分は地方へ譲与されることになっています。